

九州厚生局長 殿

開設者名 熊本大学医学部附属病院  
猪俣 裕

熊本大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3の規定に基づき、平成21年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	56.7人
--------	-------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	356人	246人	520.2人	看護補助者	12人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	18人	17人	27.9人	理学療法士	10人	臨床検査技師	60人
薬剤師	37人	0人	37.0人	作業療法士	5人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	5人	その他	0人
助産師	38人	1人	38.3人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	696人	24人	712.9人	臨床工学技士	6人	医療社会事業従事者	5人
准看護師	0人	0人	0.0人	栄養士	0人	その他の技術員	30人
歯科衛生士	0人	0人	0.0人	歯科技工士	1人	事務職員	145人
管理栄養士	4人	0人	4.0人	診療放射線技師	33人	その他の職員	16人

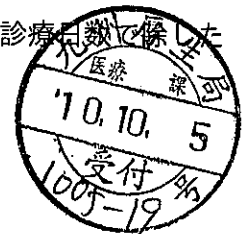
- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	709.4人	24.6人	734.0人
1日当たり平均外来患者数	1,260.1人	75.6人	1,335.7人
1日当たり平均調剤数	991.89剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。



高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
神経変性疾患のDNA診断(遺伝性脊髄性小脳変性症の遺伝子診断)	3人
リアルタイムPCRを用いたEBウイルス感染症の迅速診断	6人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	15人
超音波骨折治療法	0人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(単純疱疹ウイルス感染症又は水痘帯状疱疹ウイルス感染症に係るものであって、免疫不全のため他の方法による鑑別診断が困難なものに係るものに限る)	7人
エキシマレーザー冠動脈形成術(従来の経皮的冠動脈形成術による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る)	0人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るものに限る)	3人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索(触診及び画像診断の結果、悪性黒色腫の遠隔転移が認められないものであって、臨床的に所属リンパ節の腫大が確認されていないものに限る。)	18人
腋窩リンパ節郭清術の実施前におけるセンチネルリンパ節の同定及び生検(触診及び画像診断の結果、腋窩リンパへの転移が認められない乳がんに係るものであって、放射性同位元素および色素を用いて行うものに限る。)	149人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第二百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。



高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要 該当なし		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	72人	・膿疱性乾癬	2人
・多発性硬化症	83人	・広範脊柱管狭窄症	5人
・重症筋無力症	136人	・原発性胆汁性肝硬変	44人
・全身性エリテマトーデス	255人	・重症急性膵炎	4人
・スモン	8人	・特発性大腿骨頭壊死症	12人
・再生不良性貧血	45人	・混合性結合組織病	38人
・サルコイドーシス	79人	・原発性免疫不全症候群	3人
・筋萎縮性側索硬化症	38人	・特発性間質性肺炎	16人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	315人	・網膜色素変性症	17人
・特発性血小板減少性紫斑病	69人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	59人	・肺動脈性肺高血圧症	8人
・潰瘍性大腸炎	82人	・神経線維腫症	35人
・大動脈炎症候群	20人	・亜急性硬化性全脳炎	2人
・ビュルガー病	5人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・天疱瘡	7人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	3人
・脊髄小脳変性症	85人	・ライソゾーム病	7人
・クローン病	52人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	20人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	5人	・脊髄性筋萎縮症	3人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	187人	・球脊髄性筋萎縮症	1人
・アミロイドーシス	110人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	17人
・後縦靭帯骨化症	25人	・肥大型心筋症	6人
・ハンチントン病	1人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	59人	・ミトコンドリア病	3人
・ウェグナー肉芽腫症	8人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	2人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	69人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	1人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	18人	・黄色靭帯骨化症	0人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	92人

(注)「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・膀胱水圧拡張術	・
・センチネルリンパ節生検	・
・乳腺悪性腫瘍手術	・
・皮膚悪性腫瘍切除術	・
・先天性代謝異常症検査	・
・遺伝学的検査(家族性アミロイドーシス)	・
・画像等手術支援加算(ナビゲーションによるもの)	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

#### 6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	22回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 21 例 / 部検率 8.60%

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

(平成21年度分)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (円)	補助元及び委託元
関節リウマチの関節破壊ゼロを目指す治療指針の確立、及び根治・修復療法の開発に関する研究	田中 良哉	第1内科	21,000,000 円	補 厚生労働科学研究費 委
関節リウマチの寛解導入体系化に関する研究	田中 良哉	第1内科	2,500,000 円	補 厚生労働科学研究費 委
膠原病の生命予後規定因子である肺合併症の診断及び治療法の再評価と新規開発に関する研究	田中 良哉	第1内科	2,000,000 円	補 厚生労働科学研究費 委
免疫疾患の病因・病態解析とその制御戦略へのアプローチ	田中 良哉	第1内科	2,000,000 円	補 厚生労働科学研究費 委
免疫アレルギー疾患の予防・治療法の開発及び確立に関する臨床研究、関節リウマチ患者の生命予後からみた至適医療の確立に関する臨床研究	田中 良哉	第1内科	3,000,000 円	補 厚生労働科学研究費 委
自己免疫疾患に関する調査研究	田中 良哉	第1内科	2,200,000 円	補 厚生労働科学研究費 委
膠原病、自己免疫疾患の重複症候群を中心とした実態把握と解析に向けた試料収集	田中 良哉	第1内科	800,000 円	補 厚生労働科学研究費 委
特発性大腿骨頭壊死症の診断・治療・予防法の開発を目的とした全国学際的研究	田中 良哉	第1内科	1,500,000 円	補 厚生労働科学研究費 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（円）	補助元及び委託元
デンドライトを起点とするストレスに対するサーベイランスとシグナルネットワーク形成	田中 良哉	第1内科	9,300,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
膠原病における抗転写因子抗体の網羅的解析を用いた新規治療戦略の開発	齋藤 和義	第1内科	1,200,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
関節リウマチにおける生物学的製剤の長期安全性と副作用リスク因子に関する疫学研究	齋藤 和義	第1内科	300,000,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
老年期骨粗鬆症治療戦略確立の探索的研究～骨形成促進作用を持つ新規骨粗鬆症薬～	岡田 洋右	第1内科	1,000,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
関節リウマチ患者単球系細胞に対するJAK3阻害剤の新規薬効解明と投薬法の開発	山岡 邦宏	第1内科	1,600,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
樹状細胞-T細胞相互作用における神経伝達物質の役割の解明とRA治療の新戦略	中野 和久	第1内科	1,500,000 円	補 文部科学科学研究費委
全身性エリテマトーデスにおけるJak3を標的とした治療戦略の確立	平田 信太郎	第1内科	1,600,000 円	補 文部科学科学研究費委
日本人における動脈硬化性大動脈弁膜疾患の発症・進展予防に関する研究	尾辻 豊	第2内科	1,000,000 円	補 厚生労働科学研究費委
僧帽弁腱索断裂症例における非断裂部テザリングによる逆流の憎悪	尾辻 豊	第2内科	2,400,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（円）	補助元及び委託元
実験的肺動脈性肺高血圧症の細胞外スーパーオキシド・デイスムターゼによる抑制	太崎 博美	第2内科	300,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
動脈硬化進展退縮におけるCX3CL1/CX3CR1の役割	田中 正哉	第2内科	700,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
心筋梗塞に対する次世代治療戦略の開発	中田 靖	第2内科	1,700,000 円	補 文部科学科学研究費 委
特発性間質性肺炎患者における生体試料等の収集に関する研究	迎 寛	呼吸器病態学	4,500,000 円	補 厚生労働科学研究費 委
特発性間質性肺炎患者における生体試料等の収集に関する研究	矢寺 和博	呼吸器病態学	500,000 円	補 厚生労働科学研究費 委
デフェンシンを新しい抗菌薬として開発するための基礎的研究	迎 寛	呼吸器病態学	1,100,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
オステオポンチン重合体の間質性肺炎の病態形成における役割に関する研究	森本 泰夫	呼吸器病態学	100,000,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
ナノ粒子による肺障害の解明と有害性評価システムの構築	森本 泰夫	呼吸器病態学	1,400,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
難治性膵疾患に関する調査研究	木原 康之	第3内科	1,000,000 円	補 厚生労働科学研究費 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（円）	補助元及び委託元
肝細胞マロリ一体の形成、分解機構とその細胞生物学的意義	原田 大	第3内科	900,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
慢性膵炎における新しい治療法・予防法の検討（細胞内活性酵素種抑制からの検討）	浅海 洋	第3内科	1,600,000 円	補 文部科学科学研究費委
反復磁気刺激によるパーキンソン病治療の確立	辻 貞俊	神経内科	800,000 円	補 厚生労働科学研究費委
難治性神経因性疼痛に対する大脳一次運動野刺激の他施設共同研究：継続的反复的経頭蓋磁気刺激による効果判定とメカニズム解析	魚住 武則	神経内科	1,000,000 円	補 厚生労働科学研究費委
ジストニアの治療法の確立・治療指針策定のための調査研究	辻 貞俊	神経内科	1,000,000 円	補 文部科学科学研究費委
経頭蓋磁気刺激法を用いた神経因性疼痛治療法の開発	由比 友顕	神経内科	700,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
悪液質における食欲不振に対する六君子湯の有効性及び作用機序の検討	米良 貴嗣	神経内科	1,900,000 円	補 文部科学科学研究費委
てんかんに対する新たな治療法開設と標準化に関する研究	辻 貞俊	神経内科	6,500,000 円	補 厚労省国立高度専門医療センター 委
リワークプログラムを中心とするうつ病の早期発見から職場復帰に至る包括治療に関する研究	中村 純	神経・精神科	1,000,000 円	補 厚生労働科学研究費委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（円）	補助元及び委託元
多様化した気分障害患者に関する画像・分子薬理学的研究	中村 純	神経・精神科	3,000,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
血液型一酸化窒素合成酵素遺伝子多型のうつ病の病態への影響	吉村 玲児	神経・精神科	900,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
タバコ（ニコチン）依存との関係からみた喫煙行動に関する分子遺伝的研究	坂田 深一	神経・精神科	500,000 円	補 文部科学科学研究費委
アルコール依存症の病態と治療法の開発に関する研究	中村 純	神経・精神科	550,000 円	補 厚生労働省国立高度専門医療センター 委
気分障害の治療システムの開発と検証に関する研究	中村 純	神経・精神科	1,000,000 円	補 厚生労働省国立高度専門医療センター 委
気分障害の病態解明と診断治療法の開発に関する研究	吉村 玲児	神経・精神科	2,500,000 円	補 厚生労働省国立高度専門医療センター 委
精神・神経疾患に関するバイオマーカーの探索及び診断・治療法の開発に関する研究	吉村 玲児	神経・精神科	1,800,000 円	補 厚生労働省国立高度専門医療センター 委
プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究	楠原 浩一	小児科	2,000,000 円	補 厚生労働科学研究費委
小児期急性脳症の早期診断および予後予測に関する多施設共同研究	楠原 浩一	小児科	2,200,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（円）	補助元及び委託元
メタボリック症候群発症の背景としての脳脂肪細胞系の生後発達とその異常に関する検討	山本 幸代	小児科	1,100,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
全一酸化窒素合成酵素ノックアウトマウスにおける腎間質線維機序の解明	森貞 直哉	小児科	600,000 円	補 文部科学科学研究費 委
胎児新生児期の栄養環境がもたらす活性酸素・NOストレスと生活習慣病発症との関連性	山本 幸代	小児科	400,000,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
胎児期・出生後のストレスが脳内摂食調節機構に与える影響に関する研究	久保 和泰	小児科	1,300,000 円	補 文部科学科学研究費 委
顕微鏡感覚で使え、安心・安全を提供する手術用立体内視鏡システムの試作開発と臨床応用	西澤 茂	脳神経外科	4,000,000 円	補 厚生労働科学研究費 委
クモ膜下出血後の脳血管攣縮に対する蛋白リン酸化酵素Cをターゲットにした創薬の研究	西澤 茂	脳神経外科	700,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
悪性腫瘍における光感受性物質の放射線感受性増強効果の検討	山本 淳考	脳神経外科	800,000 円	補 文部科学科学研究費 委
低侵襲手術支援システムの実用化開発と臨床研究	西澤 茂	脳神経外科	4,500,000 円	補 文部科学省（JST） 委託事業 委
腫瘍の免疫逃避機構の解明と癌免疫療法への応用	中村 利孝	整形外科	3,700,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (円)	補助元及び委託元
骨・骨髄損傷後の修復過程における骨と血管のシグナルネットワークの解明	酒井 昭典	整形外科	1,100,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
遺伝子改変動物を用いた外傷および関節炎における疼痛・ストレス反応の分子基盤の解明	大西 英生	整形外科	2,100,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
時間特異的及び組織・細胞特異的ノックアウトマウスを用いた骨再生過程の解明	中村 英一郎	整形外科	700,000 円	補 文部科学科学研究費 委
切除可能膵胆道領域がんに対する補助療法の研究	山口 幸二	第1外科	500,000 円	補 厚生労働科学研究費 委
イノシトール3リン酸受容体発現と大腸癌における転移、術前化学療法との関連について	山口 幸二	第2外科	500,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
イノシトール3リン酸受容体発現と大腸癌における転移、術前化学療法との関連について	柴尾 和徳	第1外科	700,000,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
ヒト胃癌におけるイノシトール3リン酸受容体発現の意義とその重要性	柴尾 和徳	第1外科	1,000,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
腫瘍の免疫逃避機構の解明と癌免疫療法への応用	安元 公正	第2外科	5,900,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
肺癌の転移進展に伴う細胞性免疫および液性免疫応答の解析	竹之山 光広	第2外科	1,000,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (円)	補助元及び委託元
肺癌浸潤B細胞が認識する腫瘍抗原の抗体療法への応用	水上 真紀子	第2外科	700,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
生物学的特性からみた食道扁平上皮癌の新しい治療方針の確立	花桐 武志	第2外科	700,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
悪性胸膜中皮腫に対する特異的免疫療法の構築	宗 哲哉	第2外科	1,800,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
石綿関連肺癌に対する腫瘍抗原の探索と診断及び治療への応用	安田 学	第2外科	1,200,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
肺癌における発癌過程の腫瘍不均一形成に関する因子の解析	浦本 秀隆	第2外科	1,500,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
悪性胸膜中皮腫の胸腔内発育、進展形式の解明	安元 公正	第2外科	1,400,000 円	補 文部科学科学研究費委
癌精巢抗原KK-LC-1の新規エピトープの同定と養子免疫療法への応用	重松 義紀	第2外科	1,050,000 円	補 文部科学科学研究費委
肺癌に発現するエストロゲン受容体のEGFRとの機能的関連と分子標的の可能性	能勢 直弘	第2外科	1,100,000 円	補 文部科学科学研究費委
肺癌特異的 $\alpha\beta$ T細胞受容体遺伝子を導入した $\gamma\delta$ T細胞を用いた肺癌のCTL治療	安元 公正	第2外科	1,000,000,000 円	補 文部科学科学研究費委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (円)	補助元及び委託元
肺癌特異的 $\alpha\beta$ T細胞受容体遺伝子を導入した $\gamma\sigma$ T細胞を用いた肺癌のCTL治療	花桐 武志	第2外科	300,000,000 円	補 文部科学科学研究費委
肺癌特異的 $\alpha\beta$ T細胞受容体遺伝子を導入した $\gamma\sigma$ T細胞を用いた肺癌のCTL治療	竹之山 光広	第2外科	200,000,000 円	補 文部科学科学研究費委
複合ワクチンの戦略的開発研究	安元 公正	第2外科	30,000,000 円	補 先端医療開発特区設備整備事業補助金委
金属アレルギーの克服へ向けた効果的診断・予防治療法の開発研究	戸倉 新樹	皮膚科	2,200,000 円	補 厚生労働科学研究費委
アトピー性皮膚炎の予防・治療法の開発及び確立に関する研究	戸倉 新樹	皮膚科	2,000,000 円	補 厚生労働科学研究費委
難治性慢性痒疹・皮膚癢痒症の病態解析及び診断基準・治療指針の確立	戸倉 新樹	皮膚科	2,000,000 円	補 厚生労働科学研究費委
かゆみ過敏に関わるセマフォリン3a産生の表皮と真皮での相反性	戸倉 新樹	皮膚科	1,300,000 円	補 文部科学科学研究費委
皮膚T細胞悪性リンパ腫のAID関連microRNAによるモニタリングシステムの構築	戸倉 新樹	皮膚科	4,200,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
紫外線照射による皮膚樹状細胞を介した免疫抑制機序の解明	吉木 竜太郎	皮膚科	1,700,000 円	補 文部科学科学研究費委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（円）	補助元及び委託元
脂質メディエーターによる好酸球の皮膚浸潤メカニズムとその生理的役割の解明	杉田 和成	皮膚科	1,500,000 円	補 文部科学科学研究費委
エクリン汗腺のlabel retaining細胞の同定と汗腺の再生治療の開発	中村 元信	皮膚科	1,400,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
性感染症に関する予防、治療体系化に関する研究	松本 哲朗	泌尿器科	1,000,000 円	補 厚生労働科学研究費委
小眼球による視覚障害の原因を特定するための疫学調査と診断・治療基準の創成	近藤 寛之	眼科	2,000,000 円	補 厚生労働科学研究費委
網膜血管形成不全疾患の遺伝子解析	近藤 寛之	眼科	100,000,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
緑内障の発症機序に関する分子生物学的研究	田原 昭彦	眼科	1,000,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
光学的視覚刺激装置の開発と調節緊張緩和と近視の予防に関する研究	岩崎 常人	眼科	1,100,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
インドメタシンによる鼻茸縮小機序の解明とラミニンの関与	宇高 毅	耳鼻咽喉科	600,000 円	補 文部科学科学研究費委
鼻腔における温度センサーTRPチャンネルの発現と機能の検討	柴田 美雅	耳鼻咽喉科	1,700,000 円	補 文部科学科学研究費委



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（円）	補助元及び委託元
環境汚染物質が胎児発育に与える影響の研究	柴田 英治	産婦人科	1,300,000 円	補 文部科学科学研究費委
3テラスMRSを用いた脳内GABAの測定により夜勤従事者の疲労を客観的に評価する	興梠 征典	放射線科	800,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
温熱療法と高気圧酸素治療の2者併用による化学療法、放射線治療の増感効果の検討	大栗 隆行	放射線科	600,000 円	補 文部科学科学研究費委
神経因性疼痛モデルにおけるグリシン及びGABAトランスポーター阻害薬の鎮痛効果	原 幸治	麻酔科	600,000 円	補 文部科学科学研究費委
選択的Naチャンネル阻害薬の開発を目指した、吸入麻酔薬・鎮痛薬の作用機序解析	堀下 貴文	麻酔科	1,300,000 円	補 文部科学科学研究費委
ラット疼痛モデルを用いたポリフェノールの鎮痛作用に関する研究	中村 元洋	麻酔科	1,400,000 円	補 文部科学科学研究費委
高次脳機能障害者に対する地域支援ネットワークの構築に関する研究	蜂須賀 研二	リハビリテーション科	2,000,000 円	補 厚生労働科学研究費委
スモンに関する調査研究	蜂須賀 研二	リハビリテーション科	1,000,000 円	補 厚生労働科学研究費委
シャルコー・マリー・トゥース病の診断・治療・ケアに関する研究	蜂須賀 研二	リハビリテーション科	1,000,000 円	補 厚生労働科学研究費委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（円）	補助元及び委託元
カーボン長下肢装具がポリオ罹患患者の歩行効率を改善する要因の研究	蜂須賀 研二	リハビリテーション科	5,000,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
ロボット歩行訓練時における脊髄損傷者の脳賦活	和田 太	リハビリテーション科	1,200,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
上肢訓練ロボットを用いた訓練が脳賦活に及ぼす影響	小田 太士	リハビリテーション科	1,500,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
脳卒中片麻痺上肢に対する経頭蓋直流刺激下ロボット補助訓練の効果	佐伯 寛	リハビリテーション科	2,100,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
簡便な懸垂式歩行訓練装置の有用性に関する検討	牧野 健一郎	リハビリテーション科	500,000 円	補 文部科学科学研究費委
脳卒中後うつに対する塩酸パロキセチン投与が長期的なADL, QOLに及ぼす影響	高橋 真紀	リハビリテーション科	500,000 円	補 文部科学科学研究費委
u-リハビリ空間実現のための歩容情報センシングの研究開発	蜂須賀 研二	リハビリテーション科	678,000 円	補 総務省委託事業 委
慢性腎疾患におけるインテグリンの病態生理学的役割の解明と制御による治療への応用	田村 雅仁	腎センター	700,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
動脈硬化血管における新しいヒスタミンの機能	笹栗 靖之	第2病理学	200,000,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（円）	補助元及び委託元
植物由来化合物のカテコールアミン神経機能と寿命に及ぼす影響	高橋 浩二郎	薬剤部	1,200,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
芦屋町における児童生徒の保健管理に関する調査	尾辻 豊	第2内科	1,000,000 円	補 芦屋町 委
早期糖尿病の進展抑制に関する無作為化比較臨床試験	原田 大	第3内科	50,000 円	補 日本糖尿病進展抑制研究会 委
「Stage II 大腸癌に対する術後補助化学療法に関する研究」第Ⅲ相臨床試験	山口 幸二	第1外科	315,000 円	補 (財)先端医療振興財団 委
Stage III 結腸癌治癒切除に対する術後補助化学療法としてのUFT/LeucovorinとTS-1療法の第Ⅲ相比較臨床試験	山口 幸二	第1外科	105,000 円	補 (財)先端医療振興財団 委
静脈血栓症予防のための小型下肢運動補助ロボットの開発	岡本 好司	第1外科	325,000 円	補 (財)北九州産業学術推進機構 委
低侵襲手術支援システムの実用化開発と臨床研究	西澤 茂	脳神経外科	5,850,000 円	補 文部科学省 委
u-リハビリ空間実現のための歩容情報センシングの研究開発	蜂須賀 研二	リハビリテーション	881,400 円	補 九州総合通信局（総務省） 委

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門	年月日
1 Ther. Drug. Monit.	Effects of oral administered S-1 on the pharmacokinetics of SN-38, irinotecan active metabolite, in patients with advanced colorectal cancer.	依々木 裕	消化器内科学	2009/4/1
2 Acad Radiol	Diffusion tensor tractography in the head-and-neck region using a clinical 3-T MR scanner	山下 康行	放射線診断学	2009/4/1
3 EJR	Celiac artery stenosis/occlusion treated by interventional radiology.	山下 康行	放射線診断学	2009/4/1
4 JMRI	Characterization of chondroblastic osteosarcoma: gadolinium-enhanced versus diffusion-weighted MR imaging	山下 康行	放射線診断学	2009/4/1
5 JMRI	Comparison of diffusion-weighted MRI and 2-[Fluorine-18]-Fluoro-2-deoxy-D-glucose positron emission tomography (FDG-PET) for detecting primary colorectal cancer and regional lymph node metastases	山下 康行	放射線診断学	2009/4/1
6 Funama Y, Awai K, Taguchi K, Hatemura M, Yanaga Y, Shimamura M, Yamashita Y	Cone-beam technique for 64-MDCT of lung: image quality comparison with stepwise (step-and-shoot) technique	山下 康行	放射線診断学	2009/4/1
7 J Comput Assist Tomogr	Detection of nodules showing ground-glass opacity in the lungs at low-dose multidetector computed tomography: phantom and clinical study	山下 康行	放射線診断学	2009/4/1
8 Ann Thorac Surg	Difference of sentinel lymph node identification between Tin colloid and phytate in patients with non-small cell lung cancer	山下 康行	放射線診断学	2009/4/1
9 Acad Radiol	Differentiation of common large sellar-suprasellar masses: effect of artificial neural network on radiologists' diagnosis performance	山下 康行	放射線診断学	2009/4/1
10 Academic Radiology	Diffusion-weighted imaging in ischemic stroke: effect of display method on observers' diagnostic performance	山下 康行	放射線診断学	2009/4/1
11 Radiationtherapy and Oncology	Dose-response relationship and dose optimization in radiotherapy of postoperative keloids	山下 康行	放射線診断学	2009/4/1
12 AJR	Effect of contrast injection protocols with dose adjusted to the estimated lean patient body weight on aortic enhancement at CT angiography.	山下 康行	放射線診断学	2009/4/1
13 Acad Radiol	Effect of gravity on drug distribution after port-catheter implantation for hepatic arterial infusion chemotherapy: evaluation of the relationship between the injection posture and intrahepatic perfusion on fused images acquired with a combined SPECT/CT s	山下 康行	放射線診断学	2009/4/1
14 Ann Thorac Surg	Evaluation of semiquantitative assessments of fluorodeoxyglucose uptake on positron emission tomography scans for the diagnosis of pulmonary malignancies 1 to 3cm in size	山下 康行	放射線診断学	2009/4/1
15 Radiology	Grading astrocytic tumors by using apparent diffusion coefficient parameters: superiority of a one-versus two parameter pilot method	山下 康行	放射線診断学	2009/4/1
16 AJR	Low-dose MDCT urography: feasibility study of low-tube-voltage technique and adaptive noise reduction filter	山下 康行	放射線診断学	2009/4/1
17 Acad Radio	Making of small pulmonary nodules before thoracoscopic resection: injection of lipiodol under CT-fluoroscopic Guidance	山下 康行	放射線診断学	2009/4/1
18 AJR	Performance of radiologists in detection of small pulmonary nodules on chest radiographs: effect of rib suppression with a massive-training artificial neural network	山下 康行	放射線診断学	2009/4/1
19 Eur J Cardiothorac Surg	Prediction of pulmonary function after lung lobectomy by subsegments counting, computed tomography, single photon emission computed tomography and computed tomography: a comparative study	山下 康行	放射線診断学	2009/4/1
20 Japan Radiological Society	Primary cardiac lymphoma: computed tomography and magnetic resonance imaging features	山下 康行	放射線診断学	2009/4/1
21 Hepato-Gastroenterology	Radiation therapy for lymph node metastases from hepatocellular carcinoma.	山下 康行	放射線診断学	2009/4/1
22 Eur Radiol	Role of diffusion-weighted imaging in the diagnosis of gynecological diseases	山下 康行	放射線診断学	2009/4/1
23 J Oral Pathol Med. 39(1):41-7, 2009	Aberrant expression of serum amyloid A in head and neck squamous cell carcinoma.	篠原 正徳	顎口腔病態学	2009/4/1
24 Clin Cancer Res	Humanized anti-interleukin-6 receptor antibody	篠原 正徳	顎口腔病態学	2009/4/1
25 Heart and Vessels	Significant association between score of periodontal disease and coronary artery disease	篠原 正徳	顎口腔病態学	2009/4/1

小計

25

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門	年月日
26 J. Magn. Reson. Imaging	Characterization of chondroblastic osteosarcoma : gadolinium-enhanced versus diffusion-weighted MR imaging.	水田 博志	運動骨格病態学	2009/4/1
27 Surgical Neurology	Deficits in Japanese word spelling as an initial language symptom of malignant glioma in the left hemisphere.	倉津 純一	脳神経外科学	2009/4/1
28 Brain Tumor Pathology	Successful treatment of neoadjuvant therapy for papillary tumor of the pineal region.	倉津 純一	脳神経外科学	2009/4/1
29 Radiother Oncol	Comparison of gating around end-expiration and end-inspiration in radiotherapy for lung cancer	大屋 夏生	放射線治療医学	2009/4/1
30 Radiationtherapy and Oncology	Dose-response relationship and dose optimization in radiotherapy of postoperative keloids	大屋 夏生	放射線治療医学	2009/4/1
31 Radiology	Grading astrocytic tumors by using apparent diffusion coefficient parameters: superiority of a one-versus two parameter pilot method	大屋 夏生	放射線治療医学	2009/4/1
32 Hepato-Gastroenterology	Radiation therapy for lymph node metastases from hepatocellular carcinoma	大屋 夏生	放射線治療医学	2009/4/1
33 Journal of Clinical Investigation	Heparan sulfate deficiency leads to Peters anomaly in mice by disturbing neural crest TGF- $\beta$ 2 signaling	谷原 秀信	視機能病態学	2009/4/1
34 Investigative Ophthalmology & Visual Science	Involvement of hyaluronan and its receptor CD44 with choroidal neovascularization	谷原 秀信	視機能病態学	2009/4/1
35 Genes to Cells	Molecular mechanisms regulating dissociation of cell-cell junction of epithelial cells by oxidative stress	谷原 秀信	視機能病態学	2009/4/1
36 Graefe's Archive for Clinical and Experimental Ophthalmology	Restricted post-trabeculectomy bleb formation by conjunctival scarring	谷原 秀信	視機能病態学	2009/4/1
37 Investigative Ophthalmology & Visual Science	Suppression of choroidal neovascularization in lectin-like oxidized low-density lipoprotein receptor type 1-deficient mice	谷原 秀信	視機能病態学	2009/4/1
38 American Journal of Ophthalmology	Trabeculectomy with mitomycin C for neovascular glaucoma: prognostic factors for surgical failure	谷原 秀信	視機能病態学	2009/4/1
39 Clin Neurol Neurosurg	Abnormal spinal MRI findings in human T-cell lymphotropic virus type I-associated myelopathy	内野 誠	神経内科学	2009/4/1
40 J Pathol	Chain reaction of amyloid fibril formation with induction of basement membrane in familial amyloidotic polyneuropathy	内野 誠	神経内科学	2009/4/1
41 Pancreas	Effect of low-molecular weight trypsin inhibitor, nafamostat mesilate, on trypsin activity using the pancreatic acinar cells	馬場 秀夫	消化器外科学	2009/4/1
42 Ann Surg	Extensive intraoperative peritoneal lavage (EIPL) as a standard prophylactic strategy for peritoneal recurrence in patients with gastric carcinoma.	馬場 秀夫	消化器外科学	2009/4/1
43 J Surg Oncol	Preoperative prediction of poorly differentiated components in small-sized hepatocellular carcinoma for safe local ablation therapy	馬場 秀夫	消化器外科学	2009/4/1
44 Hepato-Gastroenterol	Radiation therapy for lymph node metastases from hepatocellular carcinoma	馬場 秀夫	消化器外科学	2009/4/1
45 Mol Cancer Res	Serine Protease inhibitor kahal type1 promotes proliferation of pancreatic cancer cells through the epidermal growth factor receptor.	馬場 秀夫	消化器外科学	2009/4/1
46 Current Enzyme Inhibition	Serine protease inhibitor, Kahal type 1 (SPINK1): Beyond the trypsin inhibitor.	馬場 秀夫	消化器外科学	2009/4/1
47 J Hepatobiliary Pancreat Surg	Spleen and gastrosplenic ligament preserving distal pancreatectomy under a minimum incision approach assisted by laparoscopy.	馬場 秀夫	消化器外科学	2009/4/1
48 J Gastroenterol	Usefulness of endoscopic ultrasound-guided fine needle aspiration (EUS-FNA) for intra-abdominal lymphadenopathy of unknown origin	馬場 秀夫	消化器外科学	2009/4/1
49 Hepatogastroenterol	Whole stomach and spleen preserving total pancreatectomy : a new surgical technique for pancreatic cancer.	馬場 秀夫	消化器外科学	2009/4/1
50 J Surg Oncol	A platinum agent resistance gene, POLB, is a prognostic indicator in colorectal cancer	馬場 秀夫	消化器外科学	2009/4/1
51 Surg Endosc	Advantages of totally laparoscopic distal gastrectomy over laparoscopically assisted distal gastrectomy for gastric cancer.	馬場 秀夫	消化器外科学	2009/4/1
52 Immunol Lett	An in vivo model of priming of antigen-specific human CTL by Mo-DC in NOD/Shi-seid IL2rgamma(nu/nu) (NOG) mice	馬場 秀夫	消化器外科学	2009/4/1

小計

27

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門	年月日
53 Br J Cancer	Bone Marrow and peripheral blood expression of ID1 in human gastric carcinoma patients is a bona fide indicator of lymph node and peritoneal metastasis.british journal of cancer	馬場 秀夫	消化器外科学	2009/4/1
54 J Hepatobiliary Pancreat Surg	Cancer cells spread through lymph vessels in the submucosal layer of the common bile duct in gallbladder carcinoma	馬場 秀夫	消化器外科学	2009/4/1
55 Jpn J Clin Oncol	Detection of the DNA point mutation of colorectal cancer cells isolated from feces stored under different conditions	馬場 秀夫	消化器外科学	2009/4/1
56 Acad Radiol 16:662-8, 2009	Effect of gravity on drug distribution after port-catheter implantation for hepatic arterial infusion chemotherapy: evaluation of the relationship between the injection posture and intrahepatic perfusion on fused images acquired with a combined SPECT/CT s	馬場 秀夫	消化器外科学	2009/4/1
57 Surg Today	Gastric metastasis of malignant fibrous histiocytoma diagnosed preoperatively by endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration biopsy. ; Report of a case.	馬場 秀夫	消化器外科学	2009/4/1
58 Ann.Surg.Oncol	Hepatic stellate cells may relate to the progression of intrahepatic cholangiocarcinoma	馬場 秀夫	消化器外科学	2009/4/1
59 Am J Pathol	HMGA1 is induced by Wnt/ $\beta$ -catenin pathway and maintains cell proliferation in gastric cancer.	馬場 秀夫	消化器外科学	2009/4/1
60 Cancer Sci	Identification of the H2-Kd-restricted CTL epitopes of a tumor-associated antigen,SPARC,which can stimulate antitumor immunity without causing autoimmune disease in mice	馬場 秀夫	消化器外科学	2009/4/1
61 World J Surg	Increase in the serum bile acid level predicts the effective hypertrophy of the nonembolized hepatic lobe after right portal vein embolization	馬場 秀夫	消化器外科学	2009/4/1
62 Clinical Cancer Res	MicroRNA-21 regulates proliferation and invasion in esophageal squamous cell carcinoma	馬場 秀夫	消化器外科学	2009/4/1
63 Surg Today	Multiple gastrointestinal stromal tumors in neurofibromatosis type 1: report of a case.	馬場 秀夫	消化器外科学	2009/4/1
64 J Exp Clin Cancer Res	Mutation analysis of Rad18 in human cancer cell lines and non small cell lung cancer tissues.	馬場 秀夫	消化器外科学	2009/4/1
65 Am J Surg	Neuroendocrine tumor of the rectum.	馬場 秀夫	消化器外科学	2009/4/1
66 Hepatol Res Pract	Occurrence of hepatocellular carcinoma after a hepatic resection of ahepatoblastoma in an adult patient with hepatitis C virus.	馬場 秀夫	消化器外科学	2009/4/1
67 Oncol Rep	p12cdk-2AP1 is associated with tumor progression and poor prognosis in esophageal squamous cell carcinoma.	馬場 秀夫	消化器外科学	2009/4/1
68 World J Surg	Pattern of lymph node involvement in proximal gastric cancer	馬場 秀夫	消化器外科学	2009/4/1
69 J Gastrointest Surg	Prevalence of adenomas and adenocarcinomas in ileal pouch after proctocolectomy for familial adenomatous polyposis	馬場 秀夫	消化器外科学	2009/4/1
70 J Microwave Surg	Progress in endoscopic ablation for hepatocellular carcinoma.	馬場 秀夫	消化器外科学	2009/4/1
71 Surg Today	Significance of Endothelial Molecular markers in the Severity Evaluation of Acute Pancreatitis	馬場 秀夫	消化器外科学	2009/4/1
72 Gut	Submucosal tumour in a young girl.	馬場 秀夫	消化器外科学	2009/4/1
73 Oncology	The relationship between Glucose transporter type 1 expression and FDG uptake in Esophageal Squamous Cell Carcinoma	馬場 秀夫	消化器外科学	2009/4/1
74 Thermal Med	Thermal Ablation for Non-Colorectal Liver Metastases	馬場 秀夫	消化器外科学	2009/4/1
75 J Am Coll Surgeons	Transcervical superior lymph node dissection combined with transhiatal lower esophageal dissection prior to transthoracic esophagectomy-A safe approach for salvage esophagectomy	馬場 秀夫	消化器外科学	2009/4/1
76 Am J Surg	Undifferentiated sarcoma of the liver.	馬場 秀夫	消化器外科学	2009/4/1
77 Health and Quality of Life Outcomes	Factor structure of the Hospital Anxiety and Depression Scale in Japanese psychiatric outpatient and student populations	北村 俊則	臨床行動科学	2009/4/1
78 Acta Psychiatrica Scandinavica	How many well vs. unwell days can you expect over 10 years, once you become depressed?	北村 俊則	臨床行動科学	2009/4/1
79 Journal of Child and Family Studies	Intergenerational transmission of parenting style and personality: Direct influence or mediation?	北村 俊則	臨床行動科学	2009/4/1

小計

27

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門	年月日
80 Open Family Studies Journal	The Resilience Scale: A duplication study in Japan	北村 俊則	臨床行動科学	2009/4/1
81 J Am Acad Dermatol	A randomized double-blind trial of intravenous immunoglobulin for pemphigus.	尹 浩信	皮膚病態治療再建学	2009/4/1
82 J Immunotherapy,	Multiple antigen-targeted immunotherapy with $\alpha$ -galactosylceramide-loaded	尹 浩信	皮膚病態治療再建学	2009/4/1
83 Respiriology	Correlation of C-reactive protein with disease severity in CT diagnosed emphysema.	興梠 博次	呼吸器病態学	2009/4/2
84 Surgery Today	Advantage of sentinel lymph node biopsy before neoadjuvant chemotherapy in breast cancer treatment	岩瀬 弘敬	乳腺・内分泌外科学	2009/4/30
85 J Neurosurg	Antitumor effect of humanized anti-IL-6 receptor antibody (tocilizumab) on glioma cell proliferation.	安東 由喜雄	病態情報解析学	2009/5/1
86 Amyloid	Excessive fibrinolysis in AL-amyloidosis is induced by urokinase-type plasminogen activator from bone marrow plasma cells.(共著)	安東 由喜雄	病態情報解析学	2009/5/1
87 J Am Geriatr Soc	Aspergillus galactomannan test results in patients with aspiration pneumonia	興梠 博次	呼吸器病態学	2009/5/1
88 Thrombosis Research	Changes in Plasma Von Willebrand Factor and ADAMTS13 Levels Associated with Left Atrial Remodeling in Atrial Fibrillation	小川 久雄	循環器病態学	2009/5/1
89 Internal Medicine	Primary Systemic Amyloidosis with Bloody Pericardial Effusion	小川 久雄	循環器病態学	2009/5/1
90 Journal of Cardiology	Sorafenib-induced acute myocardial infarction due to coronary artery spasm	小川 久雄	循環器病態学	2009/5/1
91 J. Bone. Miner. Metab.	Analyses of early events during chondrogenic repair in rat full-thickness articular cartilage defects.	水田 博志	運動骨格病態学	2009/5/1
92 J. Shoulder Elbow Surg.	The effect of a local application of fibroblast growth factor-2 on tendon-to-bone remodeling in rats with acute injury and repair of the supraspinatus tendon.	水田 博志	運動骨格病態学	2009/5/1
93 Parkinsonism and Related Disorders	Subthalamic nucleus stimulation applied in the earlier vs. advanced stage of Parkinson's disease - Retrospective evaluation of postoperative independence in pursuing daily activities.	倉津 純一	脳神経外科学	2009/5/1
94 J Neurosurg	Antitumor effect of humanized anti-IL-6 receptor antibody (tocilizumab) on glioma cell proliferation.	内野 誠	神経内科学	2009/5/1
95 Int Med	Tumefactive multiple sclerosis	内野 誠	神経内科学	2009/5/1
96 Pathology International	Detection of M2 macrophages and colony-stimulating factor 1 expression in serous and mucinous ovarian epithelial tumors	片瀬 秀隆	婦人科学	2009/5/1
97 Clin Exp Rheumatol,	Decreased serum IL-7 levels in patients with systemic sclerosis.	尹 浩信	皮膚病態治療再建学	2009/5/1
98 J Am Acad Dermatol,	The prevalence of melanocytic nevi on the soles in the Japanese population.	尹 浩信	皮膚病態治療再建学	2009/5/1
99 Clin Chem	SELDI-TOF mass spectrometry evaluation of variant transthyretins for diagnosis and pathogenesis of familial amyloidotic polyneuropathy.(共著)	安東 由喜雄	病態情報解析学	2009/6/1
100 Cancer Science	Midkine in plasma as a novel breast cancer marker	岩瀬 弘敬	乳腺・内分泌外科学	2009/6/1
101 Circulation Journal	Prevalence of Undiagnosed Glucose Intolerance Changes According to Age and Gender in Japanese Middle Aged Working People	小川 久雄	循環器病態学	2009/6/1
102 Pacing and Clinical Electrophysiology	A Case of Reversible Ventricular Tachycardia and Complete Atrioventricular Block Associated with Primary Cardiac B-Cell Lymphoma	小川 久雄	循環器病態学	2009/6/1
103 Arthroscopy	The effects of fibroblast growth factor-2 on rotator cuff reconstruction with acellular dermal matrix grafts.	水田 博志	運動骨格病態学	2009/6/1
104 International Journal of Cancer	Potent antitumor effect of SN-38-incorporating polymeric micelle, NK012, against malignant glioma.	倉津 純一	脳神経外科学	2009/6/1
105 Inter Med	Brain abscess caused by pulmonary arteriovenous fistulas without Rendu-Osler-Weber disease	内野 誠	神経内科学	2009/6/1

小計

26

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門	年月日
106 Neuropathol Appl Neurobiol	Detection of granular osmiophilic material of CADASIL by light microscopy in frozen sections	内野 誠	神経内科学	2009/6/1
107 Int J Dermatol	The expression of SnoN in normal human skin and cutaneous keratinous	尹 浩信	皮膚病態治療再建学	2009/6/1
108 Ther Drug Monit	Effects of Oral Administration of S-1 on the Pharmacokinetics of SN-38, Irinotecan Active Metabolite, in Patients With Advanced Colorectal Cancer	齋藤 秀之	薬剤部	2009/6/1
109 J Hematol.	Relationship between an effective dose of imatinib, body surface area, and trough drug levels in patients with chronic myeloid leukemia.	齋藤 秀之	薬剤部	2009/6/1
110 Cancer Research	Donor CD4 T cells are critical in allogeneic stem cell transplantation against murine solid tumor	江藤 正俊	泌尿器病態学	2009/6/2
111 International Journal of Cardiology	Enalapril-induced cough is associated with non-severe heart failure	小川 久雄	循環器病態学	2009/6/26
112 Amyloid.	The significance of carpal tunnel syndrome in transthyretin Val30Met familial amyloid polyneuropathy(共著)	安東 由喜雄	病態情報解析学	2009/7/1
113 Hypertension Research	Rationale, design, and patient baseline characteristics of Olmesartan and Calcium Antagonists Randomized (OSCAR) Study: A study comparing the incidence of cardiovascular events between high-dose angiotensin II receptor blocker (ARB) monotherapy and combin	小川 久雄	循環器病態学	2009/7/1
114 Pharmaceutical Research	Synthesis of prostaglandin E(1) phosphate derivatives and their encapsulation in biodegradable nanoparticles	小川 久雄	循環器病態学	2009/7/1
115 Spine J.	Gas-filled intradural cysts of the lumbar spine and the possible pathogenesis.	水田 博志	運動骨格病態学	2009/7/1
116 Acad Radiol	Diffusion Tensor Tractography in the Head-and-Neck Region Using a Clinical 3-T MR Scanner	湯本 英二	頭頸部感覚病態学	2009/7/1
117 J Dermatol Sci.,	Retrospective study of clinical and laboratory features in Japanese scleroderma	尹 浩信	皮膚病態治療再建学	2009/7/1
118 Life Sciences	Molecular mechanisms regulating urogenital expression of nitric oxide synthase in spontaneously hypertensive rats.	江藤 正俊	泌尿器病態学	2009/7/2
119 J Neurosurg	Antitumor effect of humanized anti-interleukin-6 receptor antibody (tocilizumab) on glioma cell proliferation(共著)	安東 由喜雄	病態情報解析学	2009/8/1
120 Internal Medicine	A Woman with Progressive Thinning of the Skull	小川 久雄	循環器病態学	2009/8/1
121 Circulation Journal	Expression Levels of Toll-Like Receptor Genes in Coronary Atherosclerotic Lesions in Patients with Acute Coronary Syndrome or stable angina pectoris	小川 久雄	循環器病態学	2009/8/1
122 Heart Rhythm	Mechanisms of the maintenance of atrial fibrillation: Role of the complex fractionated atrial electrogram region assessed by non-contact mapping	小川 久雄	循環器病態学	2009/8/1
123 Journal of Cardiology	Modern state of acute myocardial infarction in the interventional era: observational case-control study -Japanese acute coronary syndrome study (JACSS)-	小川 久雄	循環器病態学	2009/8/1
124 Circ J	Coronary risk factor profile and prognostic factors for young Japanese patients undergoing coronary revascularization.	川筋 道雄	心臓血管外科学	2009/8/1
125 Neurosurgery	A 3D-CT-based procedure for planning retrosigmoid craniotomy.	倉津 純一	脳神経外科学	2009/8/1
126 Journal of Neurosurgery	Antitumor effect of humanized anti-interleukin-6 receptor antibody (tocilizumab) on glioma cell proliferation.	倉津 純一	脳神経外科学	2009/8/1
127 Liver Transplantation	Liver transplantation for familial amyloidotic polyneuropathy: impact on Swedish patients' survival	内野 誠	神経内科学	2009/8/1
128 Exp Dermatol.	Alternatively activated macrophages (M2 macrophages) in the skin of patients with localized scleroderma.	尹 浩信	皮膚病態治療再建学	2009/8/1
129 Journal of the American College of Cardiology	Significance of Multiple Biomarkers Strategy Including Endothelial Dysfunction to Improve Risk Stratification for Cardiovascular Events in Patients at High Risk for Coronary Heart Disease	小川 久雄	循環器病態学	2009/8/11
130 British Journal of Urology International	Identification of potential therapeutic targets in hypertension-associated bladder dysfunction.	江藤 正俊	泌尿器病態学	2009/8/18
131 Clin Cancer Res.	Humanized Anti-Interleukin-6 Receptor Antibody Suppresses Tumor Angiogenesis and In Vivo Growth of Human Oral Squamous Cell Carcinoma(共著)	安東 由喜雄	病態情報解析学	2009/9/1
132 Cancer Sci	Midkine in plasma as a novel breast cancer marker(共著)	安東 由喜雄	病態情報解析学	2009/9/1

小計

27



	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門	年月日
133	J Thorac Oncol	Relationship between functional preservation after segmentectomy and volume-reduction effects after lobectomy in stage I non-small cell lung cancer patients with emphysema	興裕 博次	呼吸器病態学	2009/9/1
134	Cancer Sci.	Midkine in plasma as a novel breast cancer marker.	篠原 正徳	顎口腔病態学	2009/9/1
135	American Journal of Cardiology	Comparison of Blood Glucose Values on Admission for Acute Myocardial Infarction in Patients with versus without Diabetes Mellitus	小川 久雄	循環器病態学	2009/9/1
136	Hypertension	Critical role of apoptosis signal-regulating kinase 1 in aldosterone/salt-induced cardiac inflammation and fibrosis	小川 久雄	循環器病態学	2009/9/1
137	Hypertension	Critical role of apoptosis signal-regulating kinase 1 in aldosterone/salt-induced cardiac inflammation and fibrosis.	小川 久雄	循環器病態学	2009/9/1
138	J. Bone. Miner. Res.	Association of the tag SNPs in the human SKT gene (KIAA1217) with lumbar disc herniation.	水田 博志	運動骨格病態学	2009/9/1
139	Intern Med	Factors influencing pre-hospital delay after ischemic stroke and transient ischemic attack	内野 誠	神経内科学	2009/9/1
140	Cell Metabolism	Angiopoietin-like Protein 2 Promotes Chronic Adipose Tissue Inflammation and Obesity-Related Systemic Insulin Resistance (共著)	安東 由喜雄	病態情報解析学	2009/9/2
141	Cell metabolism	Angiopoietin-like protein 2 promotes chronic adipose tissue inflammation and obesity-related systemic insulin resistance	小川 久雄	循環器病態学	2009/9/2
142	International Immunopharmacology	Oral administration of xanthan gum enhances antitumor activity through Toll-like receptor 4.	江藤 正俊	泌尿器病態学	2009/9/27
143	Prenat Diagn.	A rapid and sensitive prenatal diagnosis of familial amyloidotic polyneuropathy ATTR Val30Met by mass spectrometry.(共著)	安東 由喜雄	病態情報解析学	2009/10/1
144	Liver Transpl	Liver transplantation for familial amyloidotic polyneuropathy: impact on Swedish patients' survival(共著)	安東 由喜雄	病態情報解析学	2009/10/1
145	Journal of Cardiology	Clinical evidences for Japanese population based on prospective studies - Linking clinical trials and clinical practice	小川 久雄	循環器病態学	2009/10/1
146	J. Arthroplasty	Three-Dimensional Tibiofemoral Kinematics During Deep Flexion Kneeling in a Mobile-Bearing Total Knee Arthroplasty.	水田 博志	運動骨格病態学	2009/10/1
147	Genes Cells	Different roles of Foxo1 and Foxo 3 in the control of endothelial cell morphology.	川筋 道雄	心臓血管外科学	2009/10/1
148	Cancer Research	Sox1 prevents tumorigenesis of glioma-initiating cells by inducing neuronal differentiation.	倉津 純一	脳神経外科学	2009/10/1
149	Clin Exp Dermatol	Clinical and laboratory features of scleroderma patients with telangiectasia.	尹 浩信	皮膚病態治療再建学	2009/10/1
150	Clin Exp Dermatol.	Cutaneous $\gamma/\delta$ T-cell lymphoma treated with retinoid and narrowband ultraviolet B.	尹 浩信	皮膚病態治療再建学	2009/10/1
151	Oncogene	castration resistance of prostate cancer cells caused by castration-induced oxidative stress through Twist1 and androgen receptor overexpression.	江藤 正俊	泌尿器病態学	2009/10/5
152	Circulation Journal	High ratio of myeloid dendritic cells to plasmacytoid dendritic cells in blood of patients with acute coronary syndrome	小川 久雄	循環器病態学	2009/11/1
153	International Journal of Cardiology	Periodontal Status And Prevotella Intermedia Antibody In Acute Coronary Syndrome	小川 久雄	循環器病態学	2009/11/1
154	Cancer Science	Decreased expression of germinal center-associated nuclear protein is involved in chromosomal instability in malignant gliomas.	倉津 純一	脳神経外科学	2009/11/1
155	Neuroradiology	Reversibility of cognitive disorder after treatment of dural arteriovenous fistulae.	倉津 純一	脳神経外科学	2009/11/1
156	Surgical Neurology	Successful treatment of intraorbital lymphangina with tissue fibrin glue.	倉津 純一	脳神経外科学	2009/11/1
157	European Radiology	Combined use of T2-weighted and diffusion-weighted 3-T MR imaging for differentiating uterine sarcomas from benign leiomyomas	片瀨 秀隆	婦人科学	2009/11/1
158	Nutrition	Hypertriglyceridemic acute pancreatitis during pregnancy: prevention with diet therapy and omega-3 fatty acids in the following pregnancy	片瀨 秀隆	婦人科学	2009/11/1

小計

26

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門	年月日
159 Prostate	Tip60 promotes prostate cancer cell proliferation by translocation of androgen receptor into the nucleus	江藤 正俊	泌尿器病態学	2009/11/29
160 J Pathol	Chain reaction of amyloid fibril formation with induction of basement membrane in familial amyloidotic polyneuropathy.(共著)	安東 由喜雄	病態情報解析学	2009/12/1
161 J Neurol Sci	Distinct characteristics of amyloid deposits in early- and late-onset transthyretin Val30Met familial amyloid polyneuropathy(共著)	安東 由喜雄	病態情報解析学	2009/12/1
162 Free Radical Research	Differences in oxidative stress markers based on the aetiology of heart failure: comparison of oxidative stress in patients with and without coronary artery disease	小川 久雄	循環器病態学	2009/12/1
163 Journal of Cardiology	The effect of edaravone on plasma monocyte chemoattractant protein-1 levels in patients with acute myocardial infarction	小川 久雄	循環器病態学	2009/12/1
164 Clin. Orthop. Relat.	New Equations for Predicting Postoperative Risk in Patients with Hip Fracture.	水田 博志	運動骨格病態学	2009/12/1
165 Neurosurgery Quarterly	Unilateral Atlantoaxial Transpedicular Screw and Rod/Plate Fixation With Sublaminar	水田 博志	運動骨格病態学	2009/12/1
166 Acta Oto-Laryngologica	Nerve-muscle pedicle implantation facilitates re-innervation of long-term denervated thyroarytenoid muscle in rats.	湯本 英二	頭頸部感覚病態学	2009/12/1
167 J Biol Chem.	Activation of AMP-activated protein kinase suppresses oxidized low-density lipoprotein-induced macrophage proliferation.	荒木 栄一	代謝内科学	2009/12/11
168 Journal of Oral Pathology and Medicine	Aberrant expression of serum amyloid A in head and neck squamous cell carcinoma.(共著)	安東 由喜雄	病態情報解析学	2010/1/1
169 Molecular Therapy	Enhanced antitumor effects of an engineered measles virus Edmonston strain expressing the wild-type N, P, L genes on human renal cell carcinoma.	江藤 正俊	泌尿器病態学	2010/1/5
170 Biochemistry.	Role of the glutamic acid 54 residue in transthyretin stability and thyroxine binding(共著)	安東 由喜雄	病態情報解析学	2010/1/12
171 Journal of Interferon & Cytokine Research	Influence of immunotherapy with interferon-alpha on regulatory T cells in renal cell carcinoma patients	江藤 正俊	泌尿器病態学	2010/1/12
172 J Diabetes Investigation	Predictors of Coronary Heart Disease in Japanese Patients with Type 2 Diabetes. -Screening for Coronary Artery Stenosis by Multidetector Computed Tomography-	荒木 栄一	代謝内科学	2010/1/22
173 Arch Ophthalmol.	Impact of Liver Transplantation on Transthyretin-related Ocular Amyloidosis in Japanese Patients.(共著)	安東 由喜雄	病態情報解析学	2010/2/1
174 Eur J Neurol.	Clinical features of non-hypertensive lobar intracerebral hemorrhage related to cerebral amyloid angiopathy.(共著)	安東 由喜雄	病態情報解析学	2010/2/1
175 Biochem Biophys Res Commun 393:331-337, 2010	Chronic hepatitis C viral infection reduced NK cell frequency and suppresses cytokine secretion: Reversion by anti-viral treatment.	佐々木 裕	消化器内科学	2010/2/1
176 World J Gastrointest Endosc	Short term results of endoscopic submucosal dissection in superficial esophageal squamous cell neoplasms.	佐々木 裕	消化器内科学	2010/2/1
177 Circulation: Arrhythmia and Electrophysiology	Analysis of the anatomical tachycardia circuit in verapamil-sensitive atrial tachycardia originating from the vicinity of the atrioventricular node	小川 久雄	循環器病態学	2010/2/1
178 Skeletal Radiol.	The value of diffusion-weighted imaging for monitoring the chemotherapeutic response of osteosarcoma: a comparison between average apparent diffusion coefficient and minimum apparent diffusion coefficient.	水田 博志	運動骨格病態学	2010/2/1
179 Journal of the Atheroscler and Thrombosi.	Cannabinoid 1 receptor blockade reduces atherosclerosis with enhances reverse cholesterol transport	小川 久雄	循環器病態学	2010/2/3
180 Biochem Biophys Res Commun.	Transcription factor AP-2beta: a negative regulator of IRS-1 gene expression.	荒木 栄一	代謝内科学	2010/2/19
181 Ophthalmology	Novel therapy for transthyretin-related ocular amyloidosis: a pilot study of retinal laser photocoagulation.(共著)	安東 由喜雄	病態情報解析学	2010/3/1
182 Endoscopy	Magnifying endoscopic observation of mantle cell lymphoma in the stomach using the narrow-band imaging system	佐々木 裕	消化器内科学	2010/3/1
183 Am. J. Pathol	Synoviocyte-Derived Angiopoietin-Like Protein 2 Contributes to Synovial Chronic Inflammation in Rheumatoid Arthritis.	水田 博志	運動骨格病態学	2010/3/1
184 Neuroreport	PC3 is involved in the shift from proliferation to differentiation and maturation in spiral ganglion neurons	湯本 英二	頭頸部感覚病態学	2010/3/1

小計

26

種 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門	年 月 日
185 J Gastroenterol	A new approach to percutaneous transhepatic portal embolization using ethanalamine oleate.	馬場 秀夫	消化器外科学	2010/3/1
186 Ann Surg Oncol	Adenoviral oncolytic suicide gene therapy for a peritoneal dissemination model of gastric cancer in mice.	馬場 秀夫	消化器外科学	2010/3/1
187 Cancer Sci	CD44 <sup>+</sup> slow-cycling tumor cell expansion is triggered by the cooperative actions of Wnt and prostaglandin E <sub>2</sub> in gastric tumorigenesis.	馬場 秀夫	消化器外科学	2010/3/1
188 Esophagus	Comprehensive registry of esophageal cancer in Japan, 2002.	馬場 秀夫	消化器外科学	2010/3/1
189 Anticancer Res	FOLFOX enable resectability and excellent prognosis for initially unresectable colorectal liver metastases.	馬場 秀夫	消化器外科学	2010/3/1
190 Int J Clin Oncol	PSK may suppress CD57-positive T cells to improve survival of advanced gastric cancer patients.	馬場 秀夫	消化器外科学	2010/3/1
191 Hepatol Res	Serum HGF and TGF-β 1 levels after right portal vein embolization: clinical implications.	馬場 秀夫	消化器外科学	2010/3/1
192 Pancreas	Significance of renal rim grade on computed tomography in severity evaluation of acute pancreatitis.	馬場 秀夫	消化器外科学	2010/3/1
193 Int J Cancer	The forkhead box M1 transcription factor as a candidate of target for anti-cancer immunotherapy.	馬場 秀夫	消化器外科学	2010/3/1
194 Int J Clin Oncol	Treatment results of FOLFOX chemotherapy before surgery for lymph node metastasis of advanced colorectal cancer with synchronous liver metastasis: the status of LN metastasis and vessel invasions at the primary site in patients who responded to FOLFOX.	馬場 秀夫	消化器外科学	2010/3/1
195 Int J Clin Oncol	Clinical significance of dihydropyrimidine dehydrogenase and thymidylate synthase expression in patients with pancreatic cancer.	馬場 秀夫	消化器外科学	2010/3/1
196 Int J Oncol	Identification of UNC5A as a novel transcriptional target of suppressor p53 and a regulator of apoptosis.(equal contribution)	馬場 秀夫	消化器外科学	2010/3/1
197 J Hepatobiliary Pancreat Surg	Is an estimation of Physiologic ability and surgical stress (E-PASS) able to predict operative morbidity after pancreaticoduodenectomy?	馬場 秀夫	消化器外科学	2010/3/1
198 Int J Cancer	Loss of FBXW7, a Cell Cycle Regulating Gene, in Colorectal Cancer: Clinical Significance.	馬場 秀夫	消化器外科学	2010/3/1
199 Int J Oncol	Overexpression of SUGT1 in Human Colorectal Cancer and its clinicopathological significance.	馬場 秀夫	消化器外科学	2010/3/1
200 Cancer Chemother Pharmacol	Phase II study of motesanib in Japanese patients with advanced gastrointestinal stromal tumors with prior exposure to imatinib mesylate.	馬場 秀夫	消化器外科学	2010/3/1
201 Am J Gastroentero	Recanalization of obstructed choledochojejunostomy using magnet compression anastomosis technique	馬場 秀夫	消化器外科学	2010/3/1
202 Surg Today	The detection of tumor cells in the peritoneal cavity with early gastric cancer.	馬場 秀夫	消化器外科学	2010/3/1
203 Cancer Sci	The epithelial mesenchymal transition in cancer development and its clinical significance.	馬場 秀夫	消化器外科学	2010/3/1
204 J Gastroenterol 45:554-559, 2010	Therapeutic factors considered from a preoperative splenic volume for a prolonged increase in platelet count after partial splenic embolization for liver cirrhosis.	馬場 秀夫	消化器外科学	2010/3/1
205 Endocrine-Related Cancer	Human heterochromatin protein 1 isoform HP1beta enhances androgen receptor activity and is implicated in prostate cancer growth.	江藤 正俊	泌尿器病態学	2010/3/18

小計

21

合計 205

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 猪俣 裕紀洋		
管理担当者氏名	各診療科長	薬剤部長	斉藤 秀之
	総務・人事ユニット長	岩村和彦	医事ユニット長 江藤 竜一

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医事ユニット 各診療科 中央病歴室 電算室	病歴資料等の管理については、外来・入院診療録はともに患者IDを基に整備管理し、10年間保管する。外来診療録は、最終受診から原則1ケ年は当該診療科外来で管理し、その後中央病歴室にて管理する。入院診療録は退院後整理するまで当該診療科病棟で管理し、その後中央病歴室にて管理する。 平成22年9月20日以降の診療に関する諸記録は全て電子情報化し、診療、検査、治療、看護、その他に分類し電子保存している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務・人事ユニット	
	高度の医療の提供の実績	医事ユニット	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事ユニット	
	高度の医療の研修の実績	地域・教育支援ユニット	
	閲覧実績	総務・人事ユニット	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事ユニット	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事ユニット 薬剤部	
第規一則号第一に掲げる十一の確項各号状及び	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事ユニット	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事ユニット	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事ユニット	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医事ユニット	

況び 第九 条の 二十三 第一 項	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医事ユニット
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医事ユニット
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医事ユニット
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事ユニット

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一條の十一第一項各号及び第九條の二十三第一項第一号に掲げる体制の		
	院内感染のための指針の策定状況	医事ユニット	
	院内感染対策のための委員会の開催状況	医事ユニット	
	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事ユニット	
	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医事ユニット	
	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医事ユニット	
	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医事ユニット	
	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医事ユニット	
	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医事ユニット	
	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	ME機器センター	
従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器センター		

確保の状況	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器センター
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器センター

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	総務・人事ユニット長	岩村 和彦
閲覧担当者氏名	総務・人事ユニット係長	濱崎 初好
閲覧の求めに応じる場所	総務・人事ユニット	

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件	
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	87.4%	算定期間	平成21年4月1日～平成22年3月31日	
算出根拠	A: 紹介患者の数	13,330 人		
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	13,525 人		
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,104 人		
	D: 初診の患者の数	18,465 人		

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： 適切な安全安心と高信頼性の医療サービスを患者及びその家族に提供するために、医療事故（インシデント、アクシデント等）、医薬品管理及び医療機器管理等を踏まえた医療に係る安全管理を目指す。また、「人間はエラーを犯す」ということを前提に、従業者一人一人が医療安全管理に対する高い意識を持ち、関係する各部署及び各委員会等が連携を図り、本院における医療安全管理を推進する。	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
・ 活動の主な内容： (1) 医療安全管理に係る基本方針に関すること。 (2) 医療安全管理のための具体的措置に関すること。 (3) 医療安全に係る従業者の教育及び研修に関すること。 (4) 医療事故等発生時の原因の分析究明、改善策の立案及び実施並びに従業者への周知に関すること	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 6 回
・ 研修の主な内容： 新規採用者(4月)あるいは新規中途採用者(10月)へのオリエンテーション、院外講師を招いての講演会や教授が語る講演会などを年に5~6回主催している。	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医療事故報告の整理と対処についての検討を行い、重要事例に対しては病院長、医療安全管理部長、(ゼネラル) リスクマネージャーは相互に連絡をとり対処する。過失が考えられる重篤な事例には医療事故調査専門委員会を設置し、情報公開、対処について検討する。 また、「医療安全管理に関する院内巡視実施要項」を制定し、要項に基づき、全診療科を巡視し、改善事項を当該診療科宛文書で通知を行い、改善対応方法を医療安全管理部へ提出させ、改善実施結果の確認及び院内ラウンドを実施している。 院内巡視を行い、医療安全対策の実施状況を把握・分析をすることにより、必要な業務改善の具体的な対策を推進するとともに、職員の意識向上を図り、医療安全の確保を目指している。	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 ( 1 名 ) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 ( 3 名 ) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無



- ・ 所属職員： 専任（ 1）名 兼任（18）名
- ・ 活動の主な内容：
  - (1) 医療の安全性の向上に係る企画・立案に関する事。
  - (2) 安全管理に係る教育・研修の企画に関する事。
  - (3) 医療事故及びインシデントの収集・調査・分析に関する事。
  - (4) リスクマネージャーとの連絡調整に関する事。
  - (5) 医療事故防止マニュアルに関する事。
  - (6) 熊本大学医学部附属病院医療安全管理委員会の庶務に関する事。
  - (7) 医療事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認及び必要な指導を行う事。
  - (8) 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況について確認を行うとともに、必要な指導を行う事。
  - (9) 事故等の原因究明が適切に実施されていることを確認するとともに、必要な指導を行う事。
  - (10) 医療安全に係る連絡調整に関する事。
  - (11) 医療安全対策推進に関する事。

⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

有・無

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 指針の主な内容：<ol style="list-style-type: none"><li>1. 院内感染対策に関する基本的な考え方</li><li>2. 院内感染対策委員会、その他の医療機関内の組織に関する基本的事項</li><li>3. 院内感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針</li><li>4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</li><li>5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針</li><li>6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針</li><li>7. その他の医療機関内における院内感染対策の推進のために必要な基本方針</li></ol></li></ul>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 活動の主な内容：<ol style="list-style-type: none"><li>1. 院内感染対策に関する事項の審議</li><li>2. 院内感染対策研修会の企画・実施</li><li>3. 感染予防に関する事業の企画・実施</li><li>4. MRSAの発生状況、耐性菌分離状況についての報告</li><li>5. 抗MRSA薬適性使用報告</li><li>6. ICTからの報告</li></ol></li></ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 研修の主な内容：<ol style="list-style-type: none"><li>1. 針刺し事故対策 熊大病院における針刺し事故発生状況報告</li><li>2. 新型インフルエンザに関するQ&amp;A</li><li>3. 院内の身近で新興する感染症：多剤耐性緑膿菌（MDRP）</li><li>4. 接触感染予防策 ～ノロウイルスに注意～</li></ol></li></ul>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 病院における発生状況の報告等の整備 ( 有 )</li><li>・ その他の改善のための方策の主な内容：</li></ul>	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	☑・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 4 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>【院内研修】</p> <p>「院内における医薬品の取り扱いと薬剤部の紹介」（講師：副薬剤部長、4月3日）</p> <p>「医療連携～がんにおける連携：情報を共有するために私たちからの提言；薬剤師の立場から～」（講師：薬剤師、8月25日）</p> <p>「カルバペネム系抗菌薬の適正使用の重要性」（講師：薬剤師、11月30日および12月2日の2回）</p> <p>「ここは知ってほしい。インスリンの使い方」（講師：薬剤管理指導室長、12月17日）および「抗がん剤の被爆について」（講師：製剤室長、12月17日）</p> <p>【病棟別研修】</p> <p>「PK/PD理論に基づいた抗菌化学療法」（講師：試験研究室長、対象：呼吸器内科医師、5月25日）</p> <p>「看護師に必要な薬理作用」（講師：薬剤師、対象：新採用看護師、6月16日）</p> <p>「第14回生涯教育・研修医セミナー」（講師：薬剤管理指導室長、対象：医療従事者、9月11日）</p> <p>「抗がん剤使用時の悪心、便秘に関する有害事象について」（講師：薬剤師、対象：西11階看護師、9月30日）</p> <p>「第15回生涯教育・研修医セミナー」（講師：薬剤管理指導室長、対象：医療従事者、11月6日）</p> <p>「静脈注射を実施する上で看護師に必要な薬理作用」（講師：薬剤師、対象：新採用看護師、11月26日）</p> <p>「慢性心不全患者への服薬指導」（講師：薬剤師、対象：6病棟12階看護師、12月3日）</p> <p>「抗菌薬の作用特性・投与方法」（講師：薬剤師、対象：第5期感染リンクナース、2月8日）</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (☑・無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p>医薬品安全管理責任者に薬剤部長を任命し、院内に医薬品安全管理専門委員会を設置した。業務手順書は平成19年7月に作成した。平成21年10月には、専門委員会を開催し業務手順書を改訂した（第4版）。平成21年4月より、中央手術部への薬剤師の常駐を開始したことに伴い、中央手術部での医薬品管理に関する章を追加し、また、本院におけるハイリスク薬リストを改定した。</p> <p>病棟・外来等、院内各部署における常備医薬品の管理状況は、担当薬剤師が毎月訪問して確認すると共に、年1回は常備医薬品の全品目を新しいロット製品に入れ替える作業を薬剤部で実施することにより、医薬品の品質管理・安全使用に努めている。また、業務手順書に基づく薬剤部内の業務状況のチェックは、院内の医療安全巡視の相互チェックに際し、薬剤部外のリスクマネージャーにより実施されている。</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (☑・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>医薬品安全管理責任者は、院内各部署における常備医薬品に関する管理状況、内用剤・外用剤・注射剤の調剤時における疑義照会内容および外来化学療法室における疑義照会事例等についての情報の収集・確認に努め、医療安全管理委員会において、その状況を報告している。</p> <p>がん化学療法における処方ミスを回避し安全性を確保する目的で、注射用抗がん剤に対する処方、レジメンオーダーリングシステムのみでの運用に限定した。薬剤部における抗がん剤の無菌調製業務を拡大し、診療科より依頼されたものは全て薬剤部にて調製を行なっている。調剤（注射剤調剤を含む）に際し質疑応答内容を記録し、処方鑑査、疑義照会および医薬品安全使用に利用している。また、治療域の狭い医薬品や个体差の大きい医薬品などについては、薬物血中濃度モニタリング（TDM）による投与設計・管理を推奨し、特に抗MRSA薬についてはTDM実施状況を定期的に調査報告し、TDMに基づいた投与を行なうように医師に対し周知徹底を図っている。</p>	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有																																							
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 1 3 回																																							
<p>・ 研修の主な内容：</p> <table border="0"> <tr> <td>4月5日</td> <td>医療用ポンプの安全な使い方</td> <td>56名参加</td> </tr> <tr> <td>4月28日</td> <td>血液浄化装置</td> <td>47名参加</td> </tr> <tr> <td>5月26日</td> <td>除細動器</td> <td>92名参加</td> </tr> <tr> <td>6月23日</td> <td>人工呼吸器</td> <td>162名参加</td> </tr> <tr> <td>7月15日</td> <td>輸液ポンプ・シリンジポンプの正しい使い方</td> <td>128名参加</td> </tr> <tr> <td>7月30日</td> <td>補助循環装置 (IABP)</td> <td>84名参加</td> </tr> <tr> <td>8月5日</td> <td>閉鎖式保育器</td> <td>40名参加</td> </tr> <tr> <td>9月9日</td> <td>血液浄化装置</td> <td>20名参加</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>除細動器</td> <td>開催予定</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>人工呼吸器</td> <td>開催予定</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>人工心肺装置</td> <td>開催予定</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>閉鎖式保育器</td> <td>開催予定</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>血液浄化装置</td> <td>開催予定</td> </tr> </table> <p>なお、各々の報告書はME機器センターに保管</p>		4月5日	医療用ポンプの安全な使い方	56名参加	4月28日	血液浄化装置	47名参加	5月26日	除細動器	92名参加	6月23日	人工呼吸器	162名参加	7月15日	輸液ポンプ・シリンジポンプの正しい使い方	128名参加	7月30日	補助循環装置 (IABP)	84名参加	8月5日	閉鎖式保育器	40名参加	9月9日	血液浄化装置	20名参加	11月	除細動器	開催予定	12月	人工呼吸器	開催予定	1月	人工心肺装置	開催予定	2月	閉鎖式保育器	開催予定	3月	血液浄化装置	開催予定
4月5日	医療用ポンプの安全な使い方	56名参加																																						
4月28日	血液浄化装置	47名参加																																						
5月26日	除細動器	92名参加																																						
6月23日	人工呼吸器	162名参加																																						
7月15日	輸液ポンプ・シリンジポンプの正しい使い方	128名参加																																						
7月30日	補助循環装置 (IABP)	84名参加																																						
8月5日	閉鎖式保育器	40名参加																																						
9月9日	血液浄化装置	20名参加																																						
11月	除細動器	開催予定																																						
12月	人工呼吸器	開催予定																																						
1月	人工心肺装置	開催予定																																						
2月	閉鎖式保育器	開催予定																																						
3月	血液浄化装置	開催予定																																						
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況																																								
<p>・ 計画の策定 (有)</p> <p>・ 保守点検の主な内容： 人工心肺装置、補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動装置。閉鎖式保育器については、保守点検計画表に基づき、年1回の定期点検を実施している。 これまでの、輸液ポンプ、シリンジポンプ、経腸栄養ポンプ、低圧持続吸引器、人工呼吸器に加え、今年度からはベッドサイドモニター、携帯用送信機の中央管理を実施し、保守点検は基より、貸出し業務を行っている。なお、保守点検、貸出し記録はCEMEを用い管理している。 月毎の保守点検実施状況は、医療安全管理委員会で報告すると共に、院内ネット上に掲載し、自由に閲覧することができる。</p>																																								
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況																																								
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容： 医療機器の不具合に関しては、医療安全管理部長の通知でお知らせされると共に、定期的に発行しているME機器センターニュースを各病棟に配布し、周知徹底を図っている。 医療機器の取扱い説明書は、ME機器センターで管理すると共に、院内ネットワーク上に掲載し、自由に見ることができる。</p>																																								